

はっぴなワタ 1987
2
No. 82

事務局：〒

津田尚美才 (TEL.

編纂人：葛西より子、子

で精神衛生の仕事をして、同時に鐵物の勉強をして来た。その裏の中で西洋とは異なる東洋に興味を持ち、日本語、日本の習慣に興味を持ち「オキキグ、ホリキ」(働かう、観よう)のモダニズム。

一月三十日は、一九八七年最初の例会を、その子
づなにお店「サクハウス」で開きました。
今夜のお客様はニューヨークから長崎へ来
られ、七ヶ月目、でもとも日本語が上手な
若い女性、エレンさんです。
知的好奇心、いろいろの目とくくくさせて

東京にとうとう人々の就職あそびの機関があり、とうとう長崎の「日米学院」の英語教師の口をみつめた。英語教師は、しばらくは長いけれども、それの口がながいので……

暖かい水みながあふれてくる東京は樹えられぬ。長崎の昔前は原爆が落ちた土地、とうとう以前から知るところ、東京、

で出来た日本人の友人が、エキソチ

長崎は好なり

イオネシア

オーストラリア

日本

海外の晴見台 因池の一戸建に佳人
で目次一てゐる 景色がよい 空気が
よい 夕日がすばらしい
親しみやすい長崎の人々 長崎の
正史はともにおもしろい
二年の契約で来た、一年たつた中
国やソ連に行きたり、今内にちこ
ん旅行しつゝおもしろいナ

今迄に北海道をやりまわつた、来週又「雪まつり」に
行く、ミッドランドでは雪はともめづらしいから

日本に来て「おれじゃ女の人ばかりさう」と思ふ。

日本の女の人こそ結婚と云ふが、とても大事なんだ、と云ふ。日本の女性ほどこそ結婚したがる。結婚はとにかく大切だ、とは、どうしても思ふまい。



